

平成29年産 春野菜の需給・価格の実績

〈 目 次 〉

【主要品目】

- ① 春キャベツ P. 2
- ② 春だいこん P. 4
- ③ たまねぎ P. 6
- ④ 春夏にんじん P. 8
- ⑤ 春はくさい P. 10
- ⑥ 春レタス P. 12

【その他品目（参考）】

- ⑦ きゅうり P. 14
- ⑧ トマト P. 16
- ⑨ ねぎ P. 18

1. 平成29年産春キャベツの需給・価格の実績

	前回の委員会(29.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
春キャベツ (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主産地の生育は順調であることから、各月とも平年並みの出荷の見込み。 ● ただし、寒玉は、慢性的に不足気味で、九州産地がこれまでの前進出荷等で切り上がりが早まる可能性もある。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 売場では、原体野菜からカットサラダに販売がシフトしている傾向が見られる。気温は、ほぼ平年並の予報であり、加熱調理機会の増加も見込め、旬の寒玉と春系の併売で需要喚起等が図られ、需要増加を見込む。 ● 寒玉が品薄な状況の中、中国産の引き合いが増加。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出荷期間を通じて、出荷は平年並みであることから、価格は平年並みの見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、主産地である愛知産が、不足する寒玉系が終盤を迎える中、春系は天候に恵まれて順調な生育となり、総入荷量は平年をかなりの程度上回った。 ● 5月は、主産地である神奈川産が、遅れていた生育が4月の気温高により回復したことから、総入荷量は平年をやや上回った。 ● 6月は、主産地である千葉産の生育は概ね順調であり、総入荷量は平年並みとなった。 ● 期間全体としては、平年をやや上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:104%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、寒玉系がカットサラダ等の堅調な需要もあり、平年をやや上回った。 ● 5月は、入荷量の増加を反映して安値基調となり、平年をやや下回った。 ● 6月は、平年をやや上回った。 ● 期間全体としては、平年をわずかに上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対平年比:101%)

(参考1) 平成29年産春キャベツの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

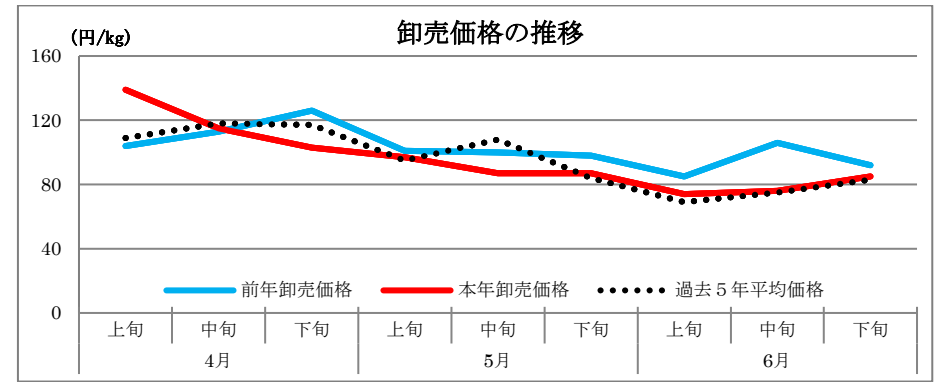
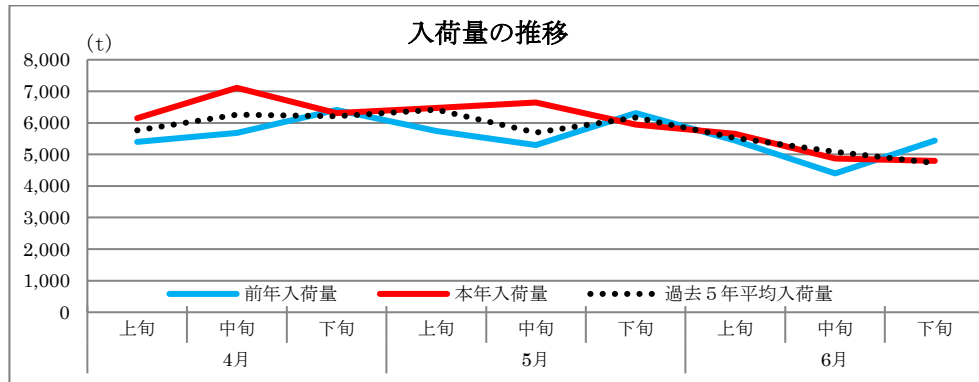
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	114	125	98	113	125	94	104	111	88	108
	112			110			100			
過去5年平均比	107	114	102	101	117	96	103	96	101	104
	107			104			100			

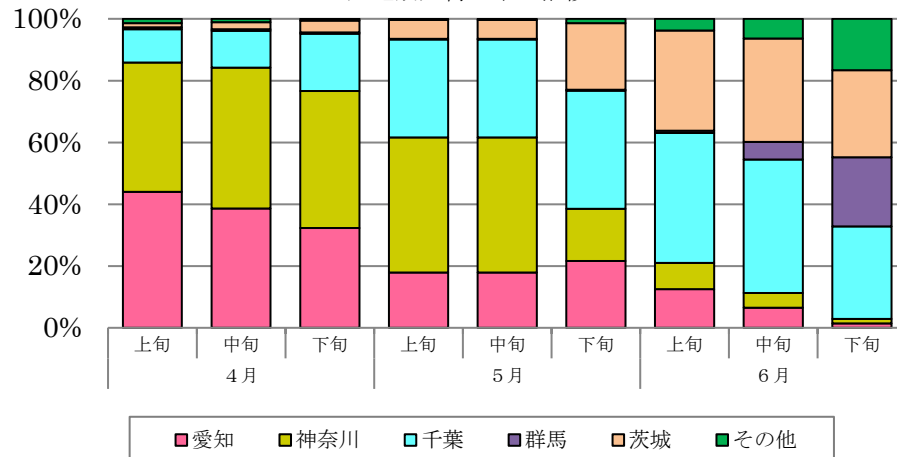
卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	134	102	82	96	87	89	87	72	92	94
	103			90			83			
過去5年平均比	128	97	88	102	81	104	107	101	102	101
	103			95			104			

(参考2) 平成29年産春キャベツの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



産地別入荷比率の推移



資料：東京青果物情報センター

2. 平成29年産春だいこんの需給・価格の実績

	前回の委員会(29.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
春だいこん (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主産地でほぼ順調な生育となっていることから、出荷期間を通じて、出荷は平年並みの見込み。 ● ただし、6月以降は、長崎の切り上がりが見込まれ、その影響によっては平年を下回る可能性。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 売場では、昨年の価格高騰で1/2カット売りが定着して1本売りに戻っていないところが見られる一方で、カット売りによる適量ニーズへの対応等により需要が増加するとの見方もあることから、需要は平年並みを見込む。 ● 加工需要等は、冬期の需要が落ち着き、徐々に減少傾向。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出荷期間を通じて、出荷は平年並みであることから、価格は平年並みの見込み。 ● ただし、6月以降は、長崎の切り上がりが見込まれ、その影響によっては、出荷は平年を下回り、価格は平年を上回る可能性。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月及び5月は、主産地である千葉産が、生育が概ね順調であったことから、総入荷量は4月は平年並みとなり、5月は平年をやや上回った。 ● 6月は、主産地である青森産が、トンネル作とベタ作の端境が生じたことから、総入荷量は平年をわずかに下回った。 ● 期間全体としては、平年をわずかに上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:101%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、平年をかなりの程度下回った。 ● 5月は、平年をわずかに上回った。 ● 6月は、中旬に青森産の入荷量が減少し、高値基調となったことから平年を大幅に上回った。 ● 期間全体としては、平年をやや上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対平年比:105%)

(参考1) 平成29年産春だいこんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

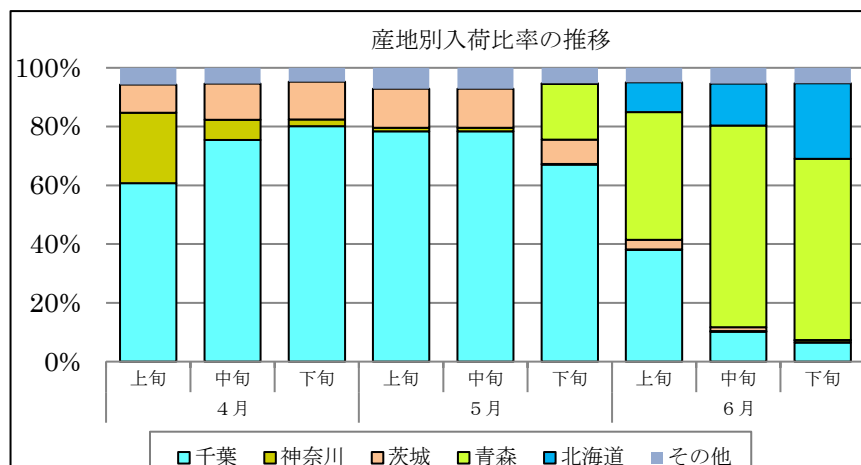
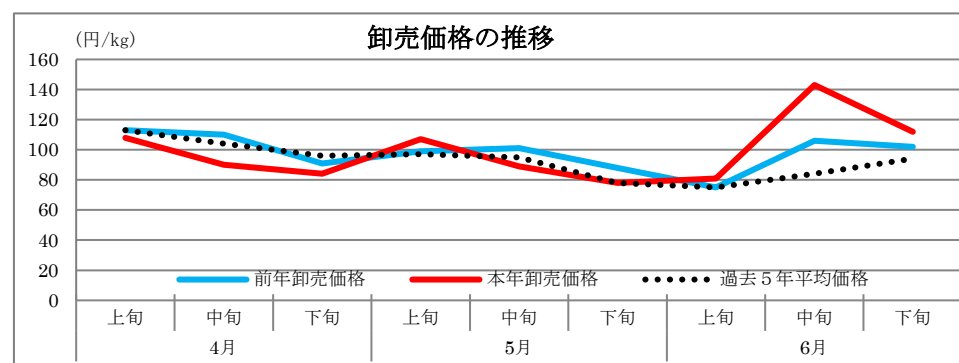
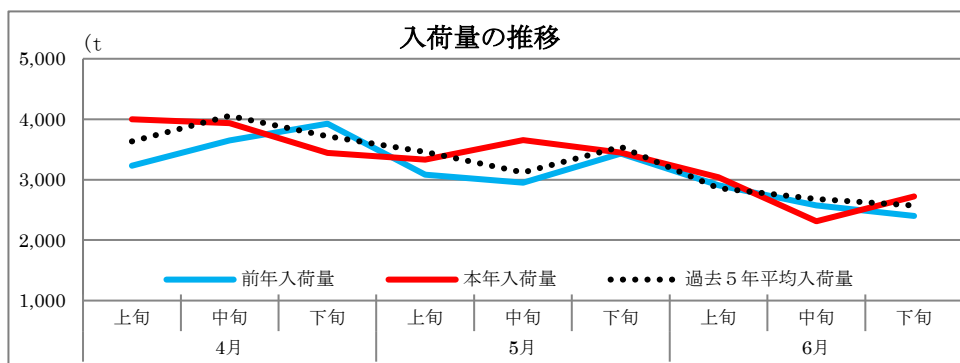
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	124	108	88	108	124	100	105	90	113	106
	105			110			102			
過去5年平均比	110	97	92	96	117	97	106	86	106	101
	100			103			99			

卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	96	82	92	108	88	89	108	135	110	99
	90			95			117			
過去5年平均比	96	87	88	110	94	100	108	170	119	105
	92			102			130			

(参考2) 平成29年産春だいこんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

3. 平成29年産たまねぎの需給・価格の実績

	前回の委員会(29.3.17)での見通し	実績(2月下旬時点)
たまねぎ (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道の貯蔵残量が前年よりも少ない見込みだが、計画的な出荷を進めており、終了時期は平年並み。ただし、佐賀の作付面積が減少し、一部で病害が見受けられることから期間を通して平年を下回る出荷の見込み。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 売場では、たまねぎを使用したカットサラダの販売が増加傾向にあり、需要増加を見込む。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道の貯蔵残量が少なく、佐賀の作付面積の減少や一部で病害が発生している状況から、出荷期間を通じて出荷は平年を下回り、価格は平年を上回る見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、主産地である佐賀産が、前年の播種、定植期の天候不順により作付面積が減少したことから、平年をかなり大きく下回った。 ● 5月及び6月は、主産地である佐賀産が、作付面積は減少したものの生育は良好であったことから、5月は平年をかなりの程度上回り、6月は平年をやや上回った。 ● 期間全体としては、平年をわずかに下回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:98%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、佐賀産の入荷量の減少を反映して高値基調が続いたことから、平年を大幅に上回った。 ● 5月は、平年をやや上回った。 ● 6月は、平年をかなり大きく下回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:107%)

(参考1) 平成29年産たまねぎの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

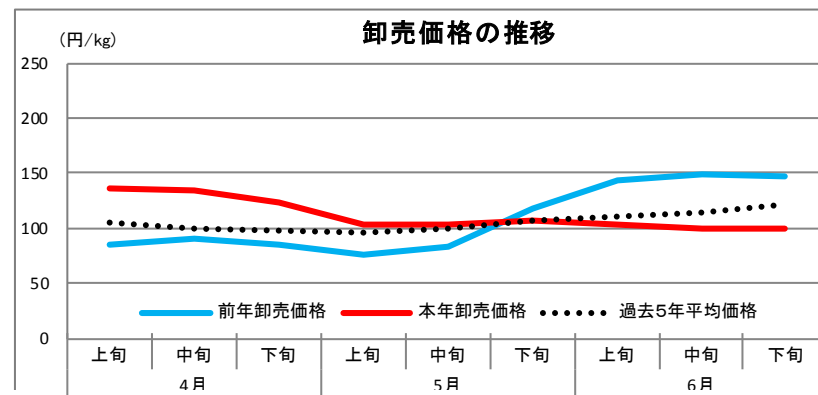
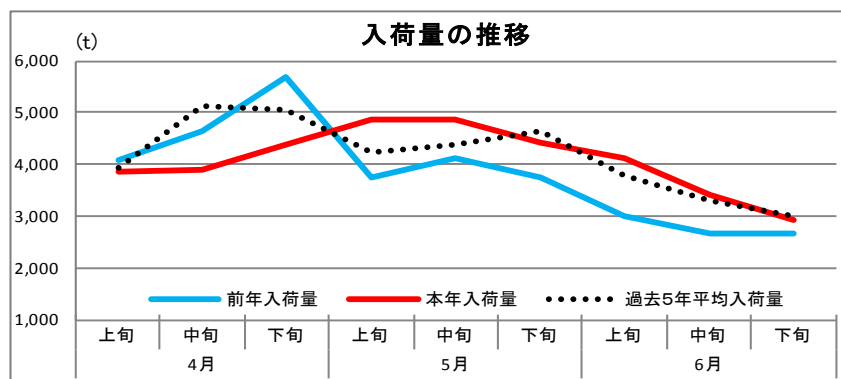
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	94	84	77	131	118	118	138	127	109	107
	84			122			125			
過去5年平均比	99	76	87	115	111	95	108	103	97	98
	86			107			103			

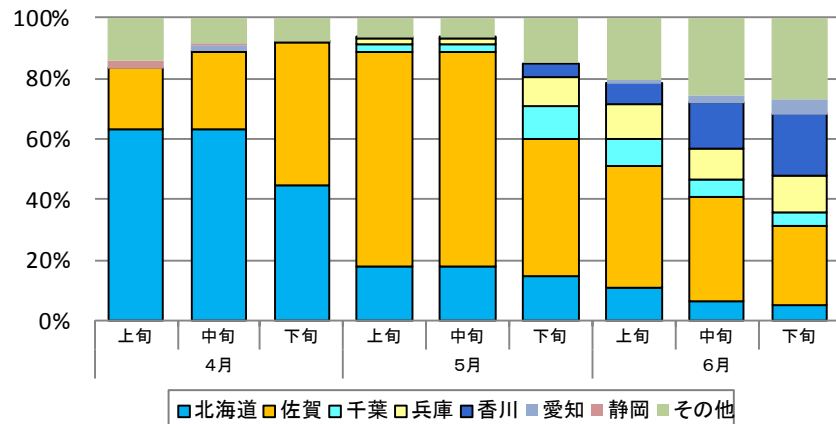
卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	160	149	144	134	124	91	73	66	67	109
	151			113			69			
過去5年平均比	128	134	127	106	104	100	95	87	81	107
	130			103			88			

(参考2) 平成29年産たまねぎの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



産地別入荷比率の推移



資料：東京青果物情報センター

4. 平成29年産春夏にんじんの需給・価格の実績

	前回の委員会(29.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
春夏にんじん (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主産地の徳島が順調であり、北海道および千葉の生育も順調なことから、出荷期間を通じて平年並みとなる見込み。 ● ただし、7月は北海道等が3月の降雪で播種が遅れたことによる影響によっては、平年を下回る可能性。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気温は、ほぼ平年並みの予報であり、加熱調理機会の増加も見込め、需要増加を見込む。 ● 加工需要では、国内産地の端境期に伴い、中国産の価格が安定していることもあり、輸入品での代替えに進む可能性もある。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主産地の生育が順調であり、出荷期間を通じて出荷は平年並みであることから、価格は平年並みの見込み。 ● ただし、7月は、北海道等が3月の降雪で播種が遅れたことによる影響によっては、出荷が平年を下回り、価格は平年を上回る可能性。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月及び5月は、主産地である徳島産が、天候に恵まれて生育が順調となったことから、総入荷量は平年をかなりの程度上回った。 ● 6月は、主産地である茨城産が、天候に恵まれて豊作傾向となったことから、総入荷量は平年をわずかに上回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:107%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、3月までの相場高の流れが続き、業務筋等の引き合いが強まり平年をかなりの程度上回った。 ● 5月及び6月は、平年をわずかに下回った。 ● 期間全体としては、平年をやや上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:103%)

(参考1) 平成29年産春夏にんじんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

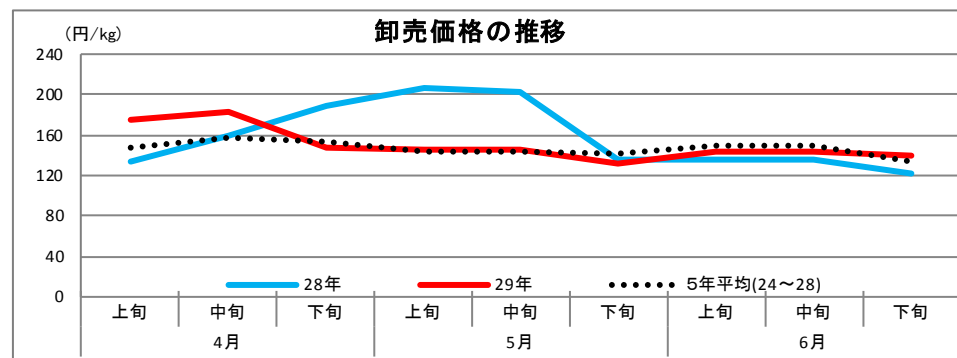
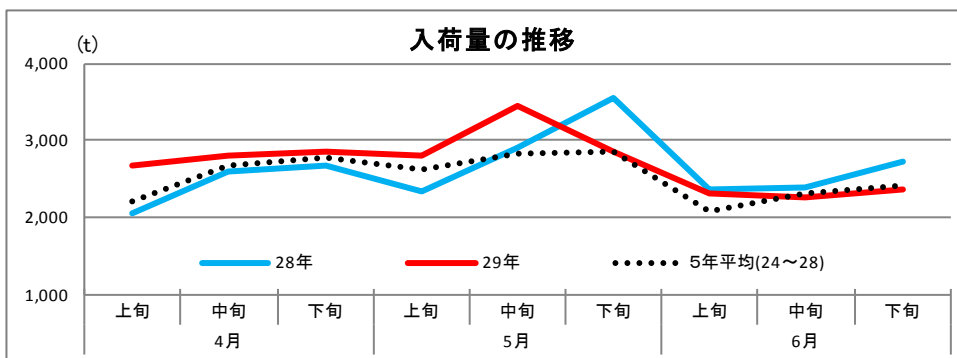
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	130	109	107	119	119	81	98	95	86	103
	114			104			93			
過去5年平均比	121	105	103	107	122	101	112	97	98	107
	109			110			102			

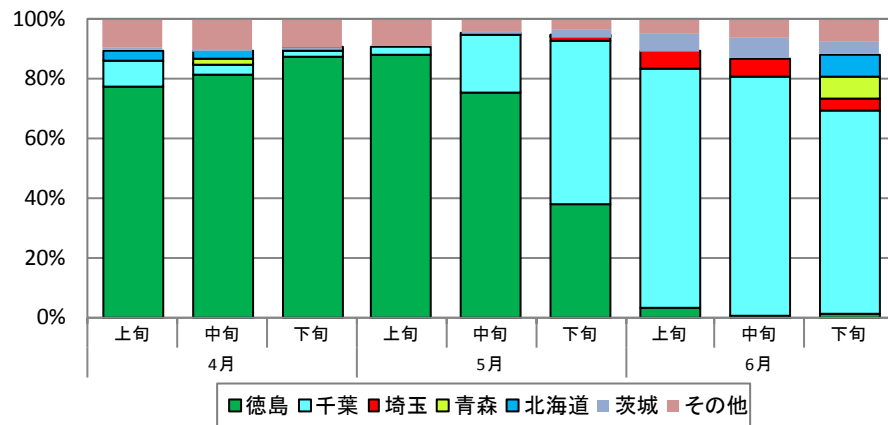
卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	131	115	78	71	72	96	106	106	115	95
	103			80			108			
過去5年平均比	119	117	97	102	102	92	96	97	104	103
	110			99			99			

(参考2) 平成29年産春夏にんじんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



産地別入荷比率の推移



資料：東京青果物情報センター

5. 平成29年産春はくさいの需給・価格の実績

	前回の委員会(29.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
春はくさい (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月及び5月は、茨城の作付面積が増加したものの、干ばつによる影響があることから平年並みの見込み。6月は長野の作付面積は減少しているものの、生育・出荷は順調となる見通しから、平年並みとなる見込み。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般消費者の需要期ではないため、市況の影響が出やすいが、需要は平年並みを見込む。 ● 加工需要は、秋冬物の価格高騰で在庫保有率が少ない状況であり、春物の引き合いが強まる可能性。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月及び5月は、茨城の作付面積の増加したものの、干ばつによる影響があり、出荷は平年並みであることから、価格は平年並みの見込み。 ● 6月は、長野産の生育が順調で出荷は平年並みであることから、価格は平年並みの見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、主産地である茨城産が、天候に恵まれて生育は概ね順調となり総入荷量は平年並みとなった。 ● 5月及び6月は、主産地である茨城産が、天候に恵まれて前進傾向となったことから、総入荷量は、5月は平年を大幅に上回り、6月はかなり大きく上回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:109%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、3月までの相場高の流れが続き、業務筋等の引き合いが強まり平年を大幅に上回った。 ● 5月及び6月は、平年をやや下回った。 ● 期間全体としては、平年を大幅に上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:122%)

(参考1) 平成29年産春はくさいの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

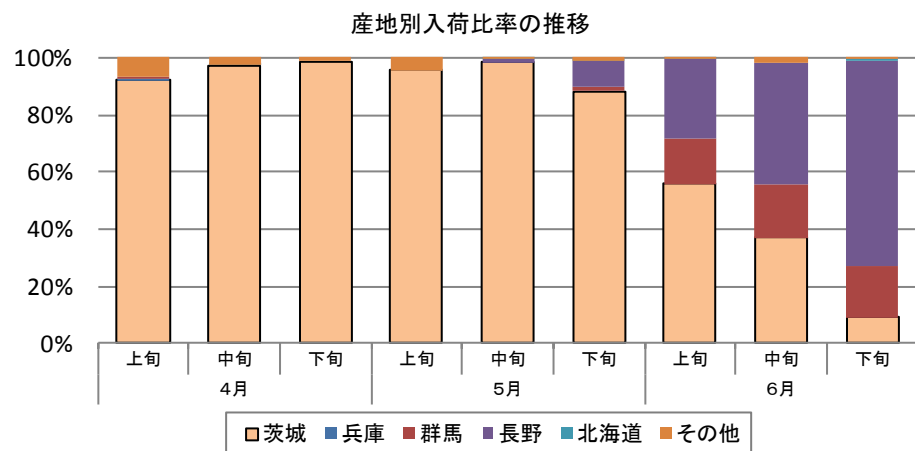
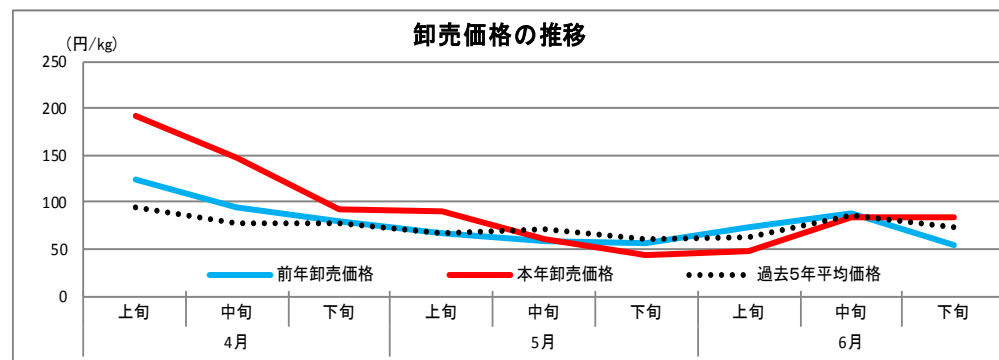
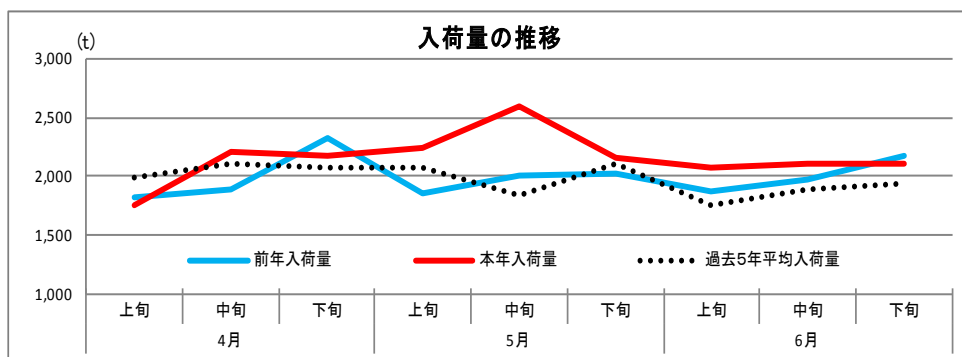
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	97	117	94	122	129	107	110	107	97	108
	102			119			104			
過去5年平均比	88	105	105	108	140	103	118	112	109	109
	100			116			113			

卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	154	156	115	136	103	75	64	94	155	118
	144			107			100			
過去5年平均比	202	190	119	134	83	70	75	97	116	122
	170			97			97			

(参考2) 平成29年産春はくさいの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

6. 平成29年産の春レタス需給・価格の実績

	前回の委員会(29.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
春レタス (4～5月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 長野の作付面積が減少しているものの、長野を含め主産地の生育が順調であることから、4月、5月ともに平年並みの出荷が見込まれる。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 売場では、原体野菜からカットサラダに販売がシフトしている傾向が見られる。需要は平年並みを見込む。 ● 加工用では、台湾産の残量が多く一部では投げ売りとなっている。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出荷期間を通じて、出荷は平年並みであることから、価格は平年並みの見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、主産地である茨城産が、3月下旬の低温もあって生育が停滞したことから、総入荷量は平年をやや下回った。 ● 5月は、主産地である茨城産が、天候に恵まれて生育が順調となったことから、総入荷量は平年をやや上回った。 ● 期間全体としては、平年をわずかに上回った。 (4月～5月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:101%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、平年をかなり大きく下回った。 ● 5月は、上旬以降の入荷量の増加に伴い、下げ基調が強まった結果平年をかなり大きく下回った。 (4月～5月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:87%)

(参考1) 平成29年産春レタスの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

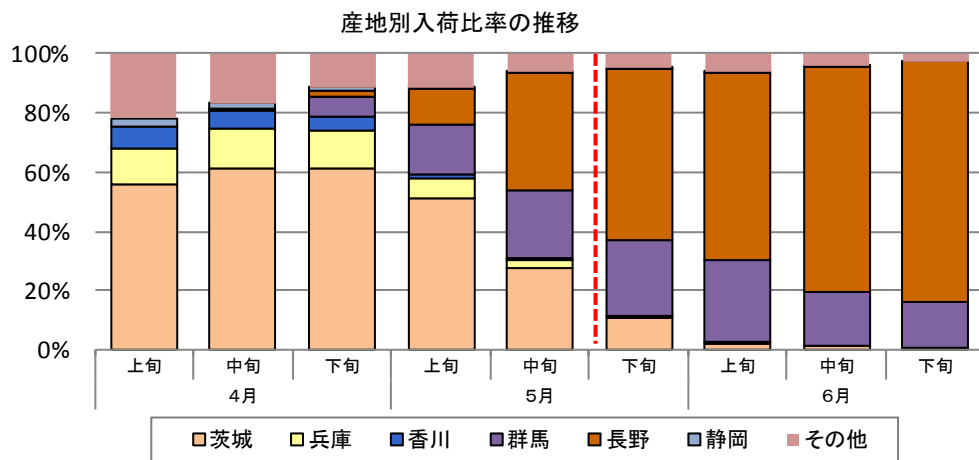
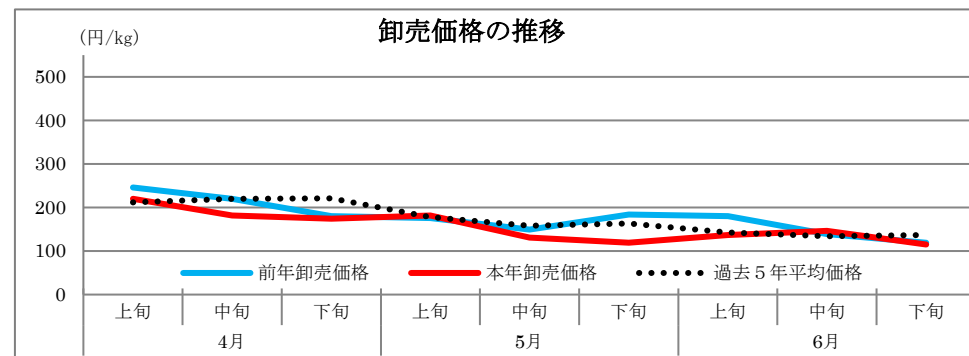
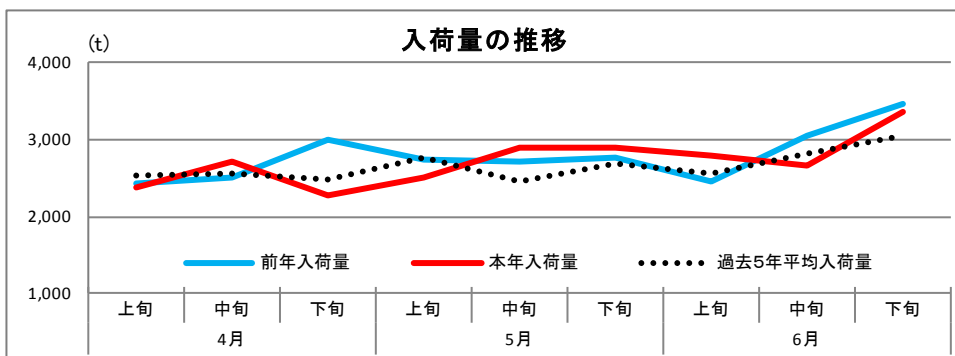
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	98	108	76	91	107	104	114	87	97	97
	93			101			98			
過去5年平均比	94	106	91	90	118	108	109	95	110	102
	97			105			105			

卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	89	83	97	103	88	65	76	105	97	88
	90			84			93			
過去5年平均比	104	83	79	102	83	73	96	109	84	89
	88			85			96			

(参考2) 平成29年産春レタスの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

7. その他品目の需給・価格の実績

	前回の委員会(29.3.17)での見通し	実績(6月下旬時点)
きゅうり (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主産地の生育が順調であることから、出荷量は、4月、5月は平年を上回り、6月は平年並みの見込み。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サラダの食卓登場頻度が上昇している傾向が見られる。需要は平年並みを見込む。 ● なお、例年通り、4月以降の加工需要は徐々に上昇する傾向にある。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月及び5月は、樹勢が強く豊作基調であることから、出荷は平年を上回り、価格は需要期で引きがあることから平年並みを見込む。6月は、出荷は平年並であることから、価格は平年並みの見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、主産地である埼玉産が、3月下旬の低温や曇天が多かったことから、総入荷量は平年をやや下回る入荷となった。 ● 5月及び6月は、主産地である群馬産が天候に恵まれて生育は順調であったことから、総入荷量は、5月が平年をかなりの程度上回り、6月は平年をやや上回った。 ● 期間全体としては、平年をやや上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:103%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、平年をわずかに下回った。 ● 5月は、平年をやや上回った。 ● 6月は、埼玉産が3月下旬の低温等の影響により入荷が伸び悩んだことから、平年をかなりの程度上回った。 ● 期間全体としては、平年をわずかに上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:102%)

(参考1) 平成29年産きゅうりの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

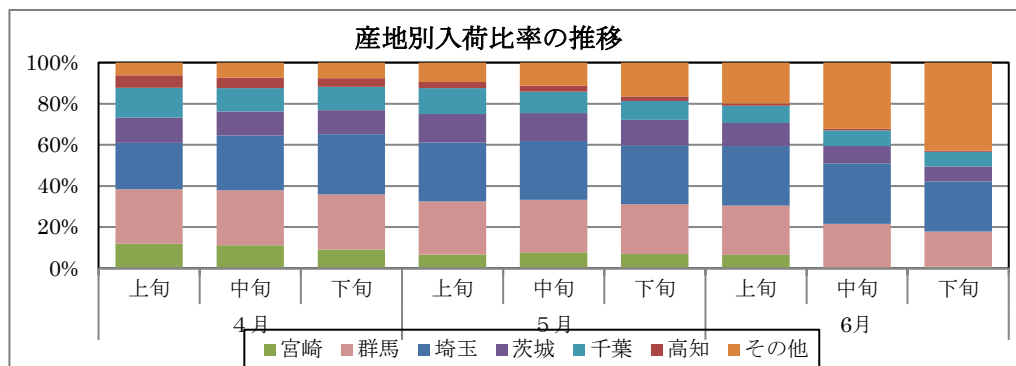
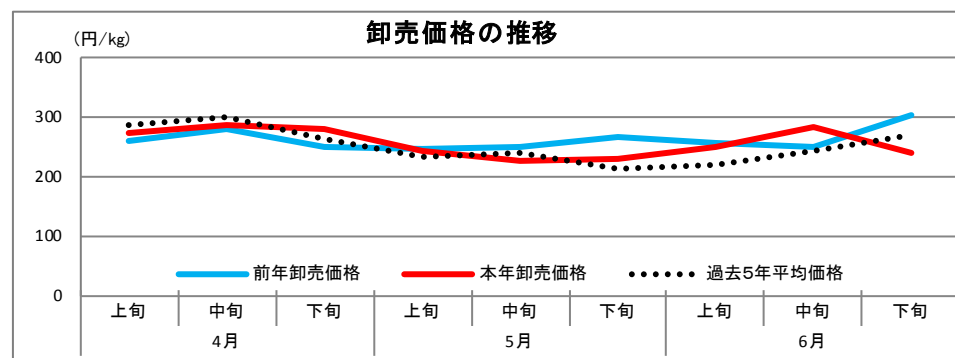
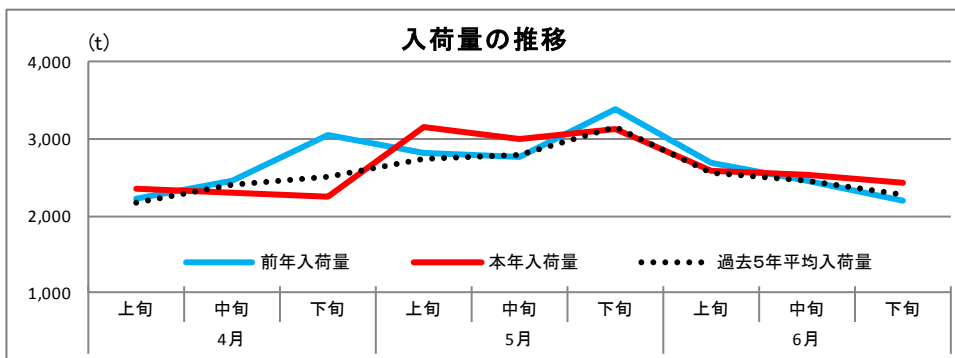
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	107	93	74	111	108	92	97	104	111	99
	89			103			103			
過去5年平均比	109	96	89	115	107	99	101	103	107	103
	97			107			104			

卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	105	102	111	98	90	87	98	113	79	97
	106			91			96			
過去5年平均比	96	96	106	104	95	108	114	116	89	102
	99			103			106			

(参考2) 平成29年産きゅうりの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

8. その他品目の需給・価格の実績

	前回の委員会(29.3.17)での見通し	実績(9月下旬時点)
<p>トマト (4～6月)</p>	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 出荷量は、関東産は4月までは、樹勢強く豊作基調であることから、平年を上回る見込み。5月以降は、熊本の作型変更により出荷の変動はあるものの、概ね平年並みの見通し。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サラダの食卓登場頻度が上昇傾向にある一方、売場では、大玉トマトからミニトマトへの販売がシフトする傾向が見られる。需要は平年並みを見込む。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、樹勢が強く豊作基調であることから、出荷は平年を上回り、価格は平年を下回る見込み。5月以降は、出荷が平年並みであることから、価格は平年並みの見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月は、主産地である熊本産が、やや小玉傾向ではあるものの、生育はおおむね順調であったことから、総入荷量は平年をかなり大きく上回った。 ● 5月は、主産地である栃木県産が、天候にも恵まれて生育が順調であったことから、総入荷量は平年をわずかに上回った。 ● 6月は、主産地である栃木県産が、出荷の終盤を迎え出荷数量が減少したことから、総入荷量は平年をかなりの程度下回った。 ● 期間全体としては、平年をわずかに上回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:102%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月及び5月は、主産県からの入荷が順調で安値基調で推移したことから、平年をかなりの程度下回った。 ● 6月は、平年をかなり大きく上回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度下回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:94%)

(参考1) 平成29年産トマトの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

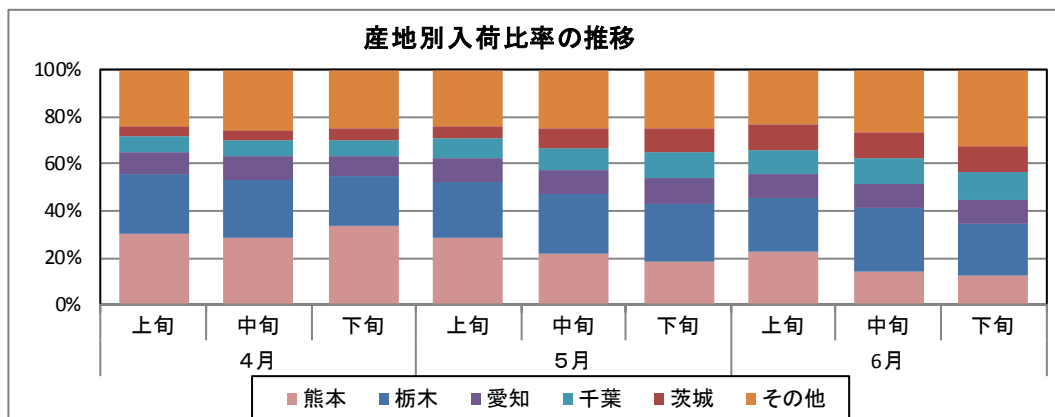
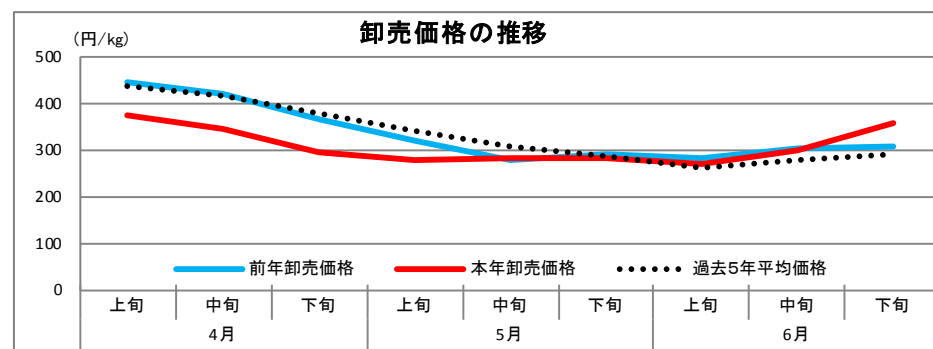
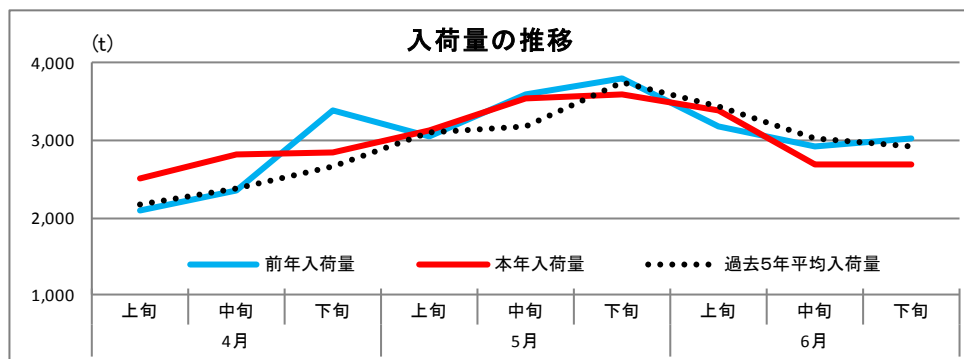
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	120	119	84	102	99	94	107	92	89	99
	104			98			96			
過去5年平均比	115	118	107	101	112	96	99	89	92	102
	113			102			94			

卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	84	82	81	87	101	97	97	98	116	93
	83			95			103			
過去5年平均比	86	82	78	81	92	98	104	108	122	94
	82			90			111			

(参考2) 平成29年産トマトの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

9. その他品目の需給・価格の実績

	前回の委員会(29.3.17)での見通し	実績(9月下旬時点)
ねぎ (4～6月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷量は、茨城等の主産地で順調な生育となっていることから、出荷量は各月とも平年並みの見込み。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鍋需要期から薬味需要期となり、売場ではバラ売りの比率が高まり、薬味カットねぎの需要が増加する傾向が見られる。需要は平年並みを見込む。 加工需要においては、国産の価格が平年並みであっても、中国産が半分の価格で推移していることもあり一定の輸入の需要はある。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷期間を通じて、出荷は平年並みであることから、価格は平年並みの見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月から6月は、主産地において干ばつの影響があったことから、総入荷量は、4月及び5月は平年をかなり大きく下回り、6月は平年を大幅に下回った。 期間全体としては、平年をかなり大きく下回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:86%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月は、平年をわずかに上回った。 5月は、干ばつの影響で入荷量は大幅に減少したものの、気温高で実需の引き合いが弱まったことから、平年をかなりの程度下回った。 6月は、平年並みとなった。 期間全体としては、平年をやや下回った。 (4月～6月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:97%)

(参考1) 平成29年産ねぎの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

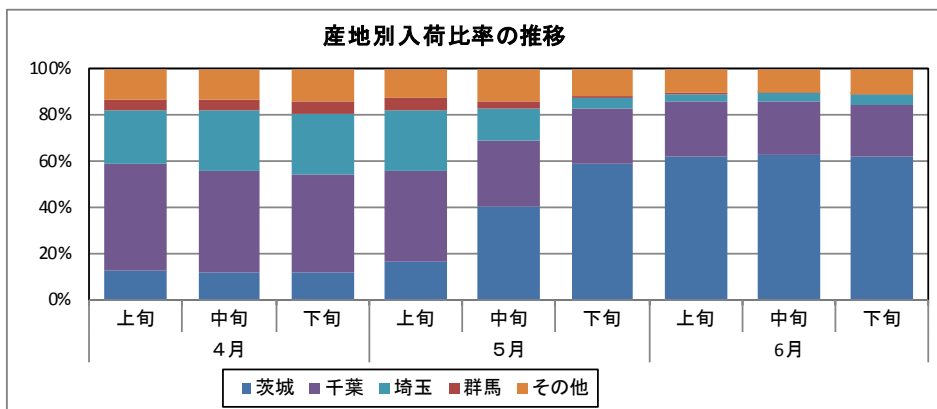
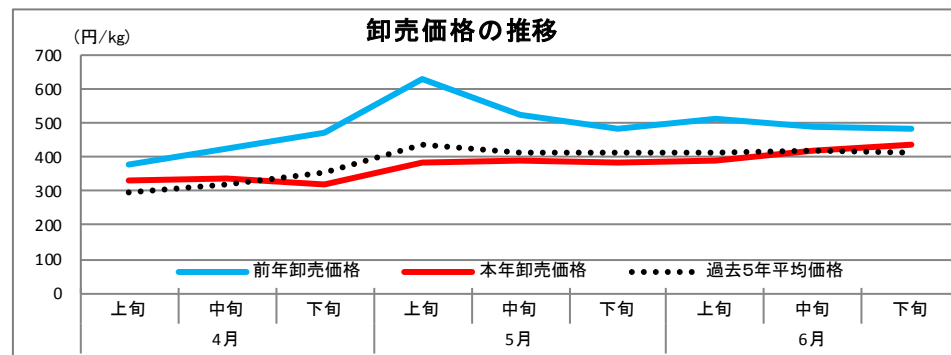
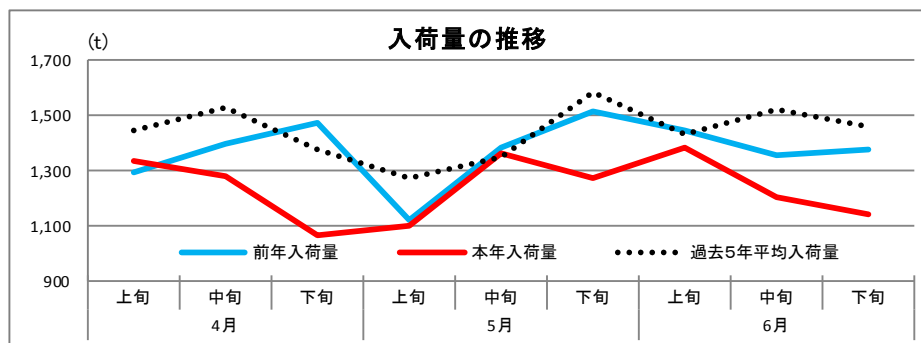
入荷量対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	103	92	72	98	99	84	96	89	83	101
	99			105			100			
過去5年平均比	92	84	78	86	101	80	97	79	78	86
	85			89			84			

卸売価格対比 (%)

	4月			5月			6月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	88	79	68	61	74	79	76	85	91	85
	85			77			93			
過去5年平均比	110	105	91	88	93	92	95	99	105	97
	102			91			100			

(参考2) 平成29年産ねぎの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター